



～滋賀応援寄附～

みなさまの応援で滋賀を元気に!

令和 **4** 年度 滋賀応援寄附活用事業のご報告



みなさまからいただいたご寄附は、以下の事業に活用させていただきました。

① 美しい琵琶湖を守ろう

寄附金活用額 20,737千円

- 琵琶湖の水などに含まれる有害物質を測定し、調査・分析をするための装置(溶存酸素多項目水質計)を購入しました。
- 琵琶湖の水草の資源循環を図るため、水草たい肥の配布会と啓発活動を実施しました。
- 琵琶湖と河川の水質を把握するための調査等を実施しました。
- 琵琶湖版のSDGsであるマザーレイクゴールズ(MLGs)を周知・推進するための取組を実施しました。
- 特定外来生物オオキンケイギクの防除についての普及啓発チラシを作成しました。



溶存酸素多項目水質計



水草資源対策循環促進事業の様子



みんなのBWAO会議の様子 (MLG関係)



オオキンケイギク防除普及啓発チラシ

② 健康な「やま・森」をつくろう

寄附金活用額 2,813千円

- 令和4年6月5日、甲賀市鹿深夢の森で第72回全国植樹祭を開催しました。今後も今大会を通じて高まった森林づくりの機運を盛り上げていきます。



③ 琵琶湖博物館を応援しよう

寄附金活用額 3,015千円

- 「出あい、学びあい、琵琶湖を世界へ発信する博物館」を目指し、琵琶湖博物館の水族展示室の維持管理等を行いました。



④ **国スポ・障スポ**を応援しよう
寄附金活用額 2,081千円

○2025年に滋賀県で開催する『わたSHIGA 輝く国スポ・障スポ』に向けた次世代アスリートの発掘・強化・育成や、両大会の開・閉会式および陸上競技の会場となる平和堂HATOスタジアムの整備に活用しました。



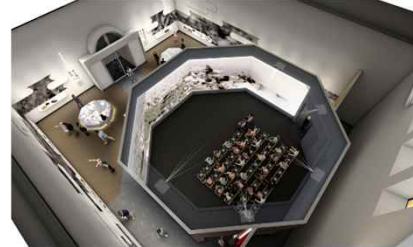
競技体験プログラム(ホッケー)



平和堂HATOスタジアム

⑤ **滋賀の文化財**を次世代へ
寄附金活用額 1,999千円

○安土城考古博物館展示改修や文化財講座の開催など文化財の魅力発信を行いました。
○文化財の魅力を幅広く伝えることにより、継承していく機運を醸成していきます。



安土城考古博物館 展示改修(イメージ)

⑥ **学習船「うみのこ」**を応援しよう
寄附金活用額 2,335千円

○学習船「うみのこ」での児童学習航海を、県内小学5年生を対象に1日航海として全102回実施しました。
○プランクトンの観察や琵琶湖の水の透視度調査など、びわ湖環境学習が充実するよう活用させていただき、子どもたちの「環境に主体的に関わる力」をはぐくむことができました。



学習船「うみのこ」

⑦ **子どもたちの健やかな育ち**を守ろう
寄附金活用額 11,091千円

○滋賀で生まれた赤ちゃんへ、生み育ててくださる御家族へ「おめでとう」「ありがとう」の気持ちを込めた贈りものをお届けしました。
○「すまいる・あくしょん(子どもの笑顔を増やすための行動様式)」を県民に普及啓発しました。
○施設等で暮らす児童の職業観を育み、退所後の安定した自立生活につなげるため、企業等の協力を得て、仕事体験等を行いました。
○児童虐待が重篤化する前に早期発見・早期対応するため、児童虐待の通告義務などを県民に広報啓発しました。



⑧ **県立学校**を応援しよう
寄附金活用額 1,562千円

○指定いただいた各学校で考えた取組事業を実施しました。(一例:彦根東高校の「学習・クラブ環境の整備事業」でバレーボールを購入)



○このほか、寄附金の一部(1,372千円)は積み立てて、今後、指定いただいた各学校で考える取組事業において活用する予定です。

⑨ **交通安全**への願い
寄附金活用額 949千円

○交通事故により悲しい思いをする人を出さないため、路側帯のカラー舗装化や路面標示・外側線の引き直しなどハード面とルール・マナー徹底などソフト面の両面から、交通事故防止対策に全力で取り組みました。(道路保全課)
○オブジェ機器のシステム改修を行い、より正確に車の角度等を測定して精査できるようになり、受講者に分かりやすく、説明しやすいシステムとなりました。(県警)



VRを活用した交通安全啓発



オブジェ機器を活用した講習

⑩ **すべての犬と猫の幸せ**を願って
寄附金活用額 4,186千円

○人と動物が共生できる豊かな社会の実現に向けて、地域猫活動の支援や適正飼養の普及啓発に活用しました。

○滋賀県動物保護管理センターの譲渡候補猫がより快適に過ごせるよう大型の飼育ケージを購入しました。



⑪ **CO₂ネットゼロ社会**を実現しよう
寄附金活用額 935千円

○「CO₂ネットゼロ(温室効果ガス排出量実質ゼロ)社会」の実現に向け、「ネットゼロフォーラムしが」を立ち上げました。



○多様な主体が参画し、情報交流や連携を促進するプラットフォームとして運営していきます。

⑫ **中山間地域の農業**を応援しよう
寄附金活用額 1,217千円

○農業の生産条件が不利な中山間地域において生産活動が継続できるよう、耕作放棄の防止に向けた活動や水路・農道の管理活動等に対する支援を行いました。



⑬ **近江牛**を日本一に
寄附金活用額 2,390千円

○近江牛の地域内一貫生産体制を強化するため、子牛の哺育・育成を担う生産拠点施設(キャトル・ステーション)の運営に活用しました。



⑭ **平和への願い**を次世代へかたりつごう
寄附金活用額 359千円

○戦後80年に向け、平和への想いを次世代へつないでいくため、滋賀県平和祈念館の第31回企画展示「戦死者8,843名 フィリピンの戦場Ⅱ-レイテ島・ミンダナオ島などの島々-」、第32回企画展示「戦争と女学生-戦時下の学校生活と進路-」に活用しました。



⑮ **子どもたちに読書の喜び**を
寄附金活用額 2,754千円

○乳幼児～小学生対象の児童書を約1,700冊購入しました。

○新しく刊行された児童書に加え、読み継がれてボロボロになった定番書の買いなおしも進めることができました。新しい本は子どもたちの目に止まりやすく、大変喜ばれ、良く利用されています。



⑯ インターネットの危険から子どもたち等を守ろう

寄附金活用額 461千円

- 児童、生徒を対象にした分かりやすい学習教材を制作することができました。
- 子どもたちがインターネットを正しく、便利に使っていくことができるよう、サイバーボランティアの協力も得ながら、サイバーセキュリティ防犯教室で活用していきます。



⑰ 滋賀県立大学を応援しよう

寄附金活用額 488千円

- 「キャンパスは琵琶湖、テキストは人間」をモットーに研究、教育、地域貢献活動等に取り組む県立大学の運営費交付金の一部として活用しました。



⑱ 滋賀初の高専設置を応援しよう

寄附金活用額 2,405千円

- 設置場所、開校時期、運営方針等の決定を行うなど、高専の設置に向けた準備・検討に活用しました。



画像 ©2022 CNES / Airbus、Maxar Technologies、Planet.cc 200 m

● 新型コロナウイルス感染症対策 滋賀県がんばる医療・福祉応援寄附

寄附金活用額 17,412千円(R4事業分)

- 新型コロナに感染された方々の治療に従事される医師や看護師の方に対して、各医療機関から支給される手当の一部、およびご家族等への感染を防ぐため、宿泊施設等を利用される経費を支援しました。
- 新型コロナに感染された児童や障害者、高齢者などの方々が入院をする場合に、医療機関より入院付き添いを求められた保護者等に対して、必要となる食事の費用について支援を行いました。

滋賀県をもっと元気にするため、
持続可能な滋賀県であるため...
皆さまからのご支援をお待ちしております。

お問い合わせ

滋賀県 総務部 行政経営推進課 営業戦略係
〒520-8577 (住所不要)
【e-mail】 shigaouen@pref.shiga.lg.jp
【TEL】 077-528-3298 【FAX】 077-528-4827

今年度の活用予定は
HPでご案内しています。

